

令和元年度(平成31年度) 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	南信州阿智村清内路煙火等資産化事業
事業主体 (連絡先)	南信州阿智村清内路煙火等資産化事業実行委員会
事業区分	(3)教育、文化の振興に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	3,122,380 円

事業内容

1 清内路の手作り煙火等の調査記録

- (1) 清内路の花火・年中行事・集落、南信州の花火(実見・聞き取り・写真撮影・測量等)を実施し報告書としてまとめた。
- (2) 関係資料の調査(文書、道具類、史跡・建築、古写真)を行い報告書に記載した。

2 清内路・南信州の花火の電子媒体(ブルーレイ)の製作

- (1) 映像記録として、ブルーレイを上清内路125枚、下清内路125枚、南信州200枚を製作した。
  - (2) 報告書として250部の製本を行った。
- これらの成果品は、関係する教育機関や研究機関へ頒布した。



【式典における報告会の様子】

3 報告会の開催

清内路村誕生130年及び阿智村合併10周年記念式典で広く村民に披露した。

4 地域学習としての活用

小学校、中学校において、地域の伝統芸能の学習材料として活用し、民俗芸能に対する地元の理解や意識を高め、民俗文化・芸能の継承に繋げた。

また、公民館等で清内路煙火を学習できるスペースを設け、施設を訪れた方々の関心を高めた。

事業効果

①報告書及びブルーレイの頒布

清内路の手作り煙火や南信州の煙火等を記録したことで、清内路の民俗文化を後世に継承する取り組みに寄与。

②報告会の企画

今後阿智村・清内路地区・保存会、飯田市美術博物館と共同し報告会を開催することで、民俗芸能に対する地元の理解や意識を高め、民俗文化・芸能の継承に繋げる。

【目標・ねらい】

- ①清内路の手作り煙火や南信州の煙火等を記録することで、後世へ継承する資料とする。
- ②民俗芸能を中心として、地域住民が主体的に地元の良さを見つめ直し、地域の個性として民俗芸能を保存・継承・活用していく取り組みについて検討する。

※自己評価【B】

【理由】

映像を記録したことで清内路の民俗文化を後世へ継承する資料や学習資料とすることができ、地域を考える発展性が期待されるため。

今後の取り組み

地元小学生や中学校を対象とした地域教育の資料として作成した映像を活用し、地元の民俗文化・芸能の認識を高め、若者の関心を高める。

また、地域の特徴として煙火の映像を紹介することで、移住者への関心を高め移住促進に繋げていく。